

Sustainable Report No.142

参加型イベントで 環境問題を自分事化



Satisfactory

■ 連携における課題

- 令和2年度の環境省の調査によると、授業時間の確保が難しいことや適切な教材やプログラム等の準備ができないことを課題と感じている教員は**全体の約70%を占めている**
- 環境教育を取り組む際に地域・NPO・企業等との協力・連携を行っている学校は2割程度で、**残りの過半数は連携の実績がない**
- 学校外の別の機会を用いて、**環境教育を目的としたイベント**が行われるようになってきた

■ 授業や学校活動で環境教育を行う際の課題

	n	%
全体	1000	100.0
取り上げるべき環境課題が分からない	74	7.4
教え方や取組方法が分からない	139	13.9
適切な教材やプログラム等の準備ができない	279	27.9
カリキュラムマネジメントが難しい	277	27.7
外部講師探し（人材が少ない）	179	17.9
学習の場探し（地域に学習に適した場所・見学できる施設等が少ない）	168	16.8
専門的な内容を相談できるところがない	132	13.2
予算が少ない	207	20.7
授業時間の確保が難しい	429	42.9
安全面の確保が難しい	62	6.2
管理職の理解・協力が得られない	30	3.0
実施してみなければ分からないことが多い	145	14.5
その他：	13	1.3
特になし	194	19.4

出典：環境省「令和2年度環境教育等促進法基本方針の実施状況調査（教職員等教育関係者向けアンケートの実施結果）」

■ 環境教育を取り組む際の学校外との連携

	n	%
全体	1000	100.0
町内会や地域住民、NPO、企業等と継続的に協力・連携して環境教育を行っている	76	7.6
町内会や地域住民、NPO、企業等と単発的ではあるが協力・連携して環境教育を行っている	121	12.1
町内会や地域住民、NPO、企業等から情報提供のみ受けている	47	4.7
具体的な協力・連携はないが理解してくれている	142	14.2
協力・連携はない	472	47.2
分からない	142	14.2

出典：環境省「令和2年度環境教育等促進法基本方針の実施状況調査（教職員等教育関係者向けアンケートの実施結果）」

誰が誰とどのように行動すれば、理想の結果に近づけるか

■多くの人々が参加できる取り組み

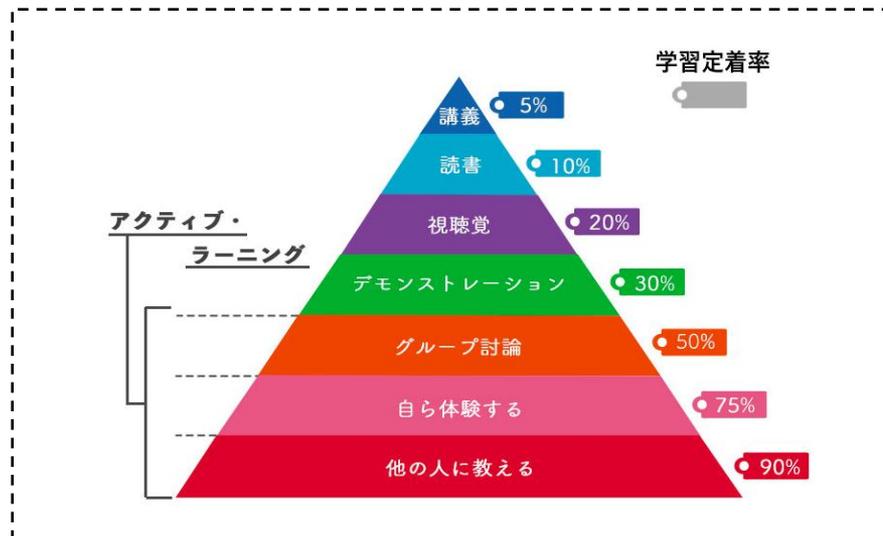
- 水族館で海ごみで作った作品展示会と、海洋プラスチック問題をテーマとした映画上映会を同時開催
- 三菱地所株式会社と、そのグループの複合施設を営む株式会社サンシャインシティで**共同企画**
- 環境教育の方法として「伝える」ことだけでなく、「**参加させる**」ことによる**一層の効果**が必要

■海ごみを使ったアート展の雰囲気



出典：PR TIMES「三菱地所株式会社・株式会社サンシャインシティによるイベントニュースリリース」

■平均学習定着率が向上する理論からのヒント



出典：1954年出版『Audio-Visual Methods in Teaching（視聴覚法の教授法）』

イベントは企画側と参加側の相乗効果を目的に実行する

■ 企業による環境活動と支援

- より多くの人々にとって、環境問題について考えるきっかけづくりや、解決の為のアイデアの幅が広がるような効果のあるイベントを実施する為に、**一般人参加型**で実現可能なイベントが求められる
- まずは**アーティストと企業を繋ぐ媒体**の確立、次にこれに賛同する双方の存在が必要となる
- 企画する企業側のゴールを明確にした上で、イベントを**各地のご当地アーティストと定期的に実施**

■ 海ごみを使ったアーティストは他にも活動中



出典：日本財団ジャーナル「海ごみアーティストあやさん」

■ 海ごみ拾いで参加型の材料集め



出典：PR TIMES「株式会社WATASU」

意識向上ではなく、能動的な行動促進を目指す

■ 参照・引用資料

- 環境省, 「令和2年度環境教育等促進法基本方針の実施状況調査」, 2021年3月 (<https://www.env.go.jp/press/109549.html>)
- 株式会社サンシャインシティ・三菱地所株式会社, 「サンシャイン連携企画リリース」, 2021年9月9日 (<https://act-5.jp/wp-content/uploads/2021/09/%E3%82%B5%E3%83%B3%E3%82%B7%E3%83%A3%E3%82%A4%E3%83%B3%E9%80%A3%E6%90%BA%E4%BC%81%E7%94%BB%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9.pdf>)
- キャリア教育ラボ, 「平均学習定着率が向上する「ラーニングピラミッド」とは?」, 2018年7月12日 (<https://career-ed-lab.mynavi.jp/career-column/707/>)
- 日本財団ジャーナル, 「【増え続ける海洋ごみ】きれいな海で泳ぎたいから——。海ごみアーティストあやおさんの地球に優しい生き方」, 2021年9月15日 (<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2021/62108>)
- PR TIMES, 「海ゴミや漁網がクジラのアートに变身! SDGsアート展を開催」, 2021年4月7日 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000076909.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先 : info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

—— サステナブルレポートとは? ——

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中